

企業とのマッチングを目指す 8大学医工連携シンポジウム

北海道大 東北大 東京医科歯科大 慶応義塾大 新潟大 名古屋大 大阪大 日本大

1月24日(金)13時~ 交流会
17時~

日本大学会館 (本部) 2階大講堂

参加無料 (交流会も無料)

主催：日本大学

共催：一般財団法人バイオインダストリー協会

後援 (予定含む)：

北海道大学、東北大学、東京医科歯科大学、
新潟大学、大阪大学、慶応義塾大学、名古屋大学、
公益財団法人 木原記念横浜生命科学振興財団
国立研究開発法人 日本医療研究開発機構、
国立研究開発法人 科学技術振興機構

協力：東京都医工連携HUB機構

プログラム

- ・開会挨拶：13:00~13:10 日本大学産官学連携知財センター センター長 本橋 重康
一般財団法人バイオインダストリー協会 専務理事 塚本 芳昭

◎ 講演会：13:10~17:00



政策セッション

(13:10-13:40)

参加申込は、下記サイトから **jba セミナー**

<https://www.jba.or.jp/jba/seminar/>

- 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
産学連携部医療機器研究課
主幹 後藤 卓史 様

「日本医療研究開発機構の医療機器支援施策について」

- 東京都医工連携HUB機構
プロジェクトマネージャー 柏野 聡彦 様

「東京都医工連携HUB機構およびAMDAPによる
医工連携スキームについて」

- 公益財団法人 木原記念横浜生命科学振興財団
事業企画部 増田和成 様

「神奈川県における生命科学産業の振興に向けた木原財団の取組み
-オープンイノベーションの活性化を目指して-」



シーズセッション

～ ディープラーニングと高機能センシングが医療を変える ～

(13:40-17:00) オーガナイザー：日本大学医学部生体機能医学系生理学分野 主任教授 三木 敏生 先生

13:40-14:00 北海道大学
政氏 伸夫 先生

「WSI(Whole Slide Imaging)とディープラーニングによる
骨髄細胞分画計数システムの開発」

14:05-14:25 東北大学
井上(安田) 久美 先生

「医療の安全を確保するエンドトキシンセンサ」

14:30-14:50 東京医科歯科大学
岩波(門脇) 佳緒里 先生

「コーティング性状・生体活性の向上を目指した
改良EPD法による新規HAp/Colコーティング」

14:55-15:15 新潟大学
藤本 篤 先生

「重症薬疹早期画像診断へのディープラーニングの応用」

15:20-15:40 名古屋大学
丸山 央峰 先生
(休憩)

「バイオニックセンシングと患者シミュレータへの応用(仮)」

15:50-16:10 慶応義塾大学
松原 輝彦 先生

「神経変性疾患の発症に関わるガングリオシドの
生理活性制御分子の設計および次世代界面制御装置の開発」

16:15-16:35 大阪大学
林田 祐樹 先生

「脳刺激型感覚補綴の電子デバイス開発と動物実験評価」

16:40-17:00 日本大学
長岡 泰司 先生

「糖尿病網膜症における眼循環と循環改善剤の探索システム(仮)」

◎ 交流会：17:00~18:00



FAX 送付状 03-5275-8328



貴社名

部署名

お役職

ご氏名

電話番号

E-mail

@

発表演題概要

北海道大学大学院 保健科学研究所
病態解析学分野 検査血液学研究室
准教授 政氏 伸夫 先生

「WSI(Whole Slide Imaging)とディープラーニング
による骨髓細胞分画計数システムの開発」

白血病などの血液疾患診断支援AIシステムの開発にむけて、血液病理学の特異性に
基づくシステム開発の方向性と問題点を示す。特にシステムの入り口となる自動骨髓
検体撮影装置はまったく未開発であり、装置に求められる条件や実現性の問題点を
明らかにする。

東北大学大学院 環境科学研究科
准教授 井上(安田) 久美先生

「医療の安全を確保するエンドトキシンセンサ」

エンドトキシンは血中にわずかでも混入すると強い炎症作用を示す菌由来成分で
す。そのため、医療や製薬現場では「その場で安価にエンドトキシンを測定できるシス
テム」が希求されています。私たちの電気化学バイオセンシング技術はそのソリュー
ションを提供します。

東京医科歯科大学 顎顔面矯正学分野
大学院生 岩波(門脇)佳緒里先生

「コーティング性状・生体活性の向上を目指した
改良EPD法による新規HAp/Colコーティング」

歯科矯正用アンカレッジデバイスの、より安全性・有効性の高い治療を実現するため、
迅速かつ強固な固定を目指したハイドロキシアパタイト/コラーゲン骨類似ナノ複
合体(HAp/Col)の新規コーティング法開発およびin vitro評価を行ったので報告す
る。

新潟大学 医歯学総合病院 皮膚科
講師 藤本 篤 先生

「重症薬疹早期画像診断へのディープラーニングの応用」

重症薬疹であるStevens-Johnson症候群/中毒性表皮壊死症を発症早期の皮疹を
元に軽症薬疹と区別することは皮膚医でも難しい。我々は、本疾患の早期診断を目
指し、近年のAIの急速な発展を支えるディープラーニングを応用した画像診断法を
開発した。

名古屋大学未来社会創造機構
ナノライフシステム研究所
准教授 丸山 央峰 先生

「バイオニックセンシングと患者シミュレータへの応用(仮)」

慶應義塾大学 理工学部
准教授 松原 輝彦 先生

「神経変性疾患の発症に関わるガングリオシドの生理活性
制御分子の設計および次世代界面制御装置の開発」

アルツハイマー病などの神経変性疾患の発症に関わるアミロイドβタンパク質の凝
集を阻害するガングリオシド結合性分子の設計を紹介する。また指向性音波を用い
て界面制御し、医学・創薬研究に適用可能な次世代のバイオリアクターの開発状況を
紹介する。

大阪大学大学院 工学研究科
電気電子情報工学専攻
准教授 林田 祐樹 先生

「脳刺激型感覚補綴の電子デバイス開発と動物実験評価」

後天的失明者に対する視覚補綴として大脳皮質内への多チャンネル微小電流刺激法
が注目されています。ここでは我々の開発した数千チャンネル刺激を実現する無線式
デバイスシステムの開発と、小型動物実験による基礎研究などをご紹介します。

日本大学医学部眼科学教室
准教授 長岡 泰司 先生

「糖尿病網膜症における眼循環と循環改善剤の探索システム(仮)」

会場へのアクセス

日本大学会館(本部)
〒102-8275
東京都千代田区九段南4-8-24

JR中央線・総武線
「市ヶ谷」駅下車 徒歩2分

都営地下鉄新宿線/
東京メトロ有楽町線・南北線
「市ヶ谷」駅下車 A2出口 徒歩1分

